

「気象業務はいま 2023」の刊行について

気象庁では、気象庁の取組の現状と今後の展望など、気象業務の全体像について広く国民の皆様にご覧いただくことを目的として、「気象業務はいま」を毎年6月1日の気象記念日にあわせて刊行しています。

今年の「気象業務はいま 2023」の主な内容は次の通りです。構成の詳細については別紙 2-2 をご覧ください。

○ 特集

気象庁の取組の中で特にスポットを当て、内容を詳細に紹介するコーナーです。今年は関東大震災から100年を迎えることから、「気象庁における巨大地震対策」について紹介しています

○ トピックス

気象庁の最新の取組等を紹介するコーナーです。地域防災支援、線状降水帯、気候変動に対する取組、気象や地震・火山の情報改善に関する取組、情報の活用に関する取組などについて取り上げ、今年でWMOの前身から150年を迎える世界気象機関との関わりなど、国際貢献についても紹介しています。

「気象業務はいま 2023」は、6月1日以降、全国の書店及び政府刊行物センターから注文販売で取り扱います。また、気象庁ホームページの「気象庁関連の刊行物・レポート」ページにも掲載します。

(<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/index.html>)

「気象業務はいま 2023」の構成

○特集 気象庁における巨大地震対策

- 1 令和 5 年（2023 年）に節目を迎える過去の巨大地震等
- 2 巨大地震対策
- 3 防災気象情報の強化
- 4 普及啓発の取り組み

○トピックスⅠ 地域防災支援の取組

- I-1 平時の地域防災支援の取り組み
- I-2 災害時の地域防災支援の取り組み
- I-3 気象防災アドバイザーの拡充

○トピックスⅡ 線状降水帯による大雨災害の被害軽減に向けて

- II-1 線状降水帯予測精度向上の取り組み
- II-2 線状降水帯に関する各種情報

○トピックスⅢ 気候の変動による影響を正しく理解し将来に備えるために

- III-1 気候変動対策に資する科学的知見の提供
- III-2 国内の顕著現象と気候変動
- III-3 世界で発生した顕著現象

○トピックスⅣ 大雨・洪水・高潮等の情報の改善

- IV-1 防災気象情報に関する検討会について
- IV-2 防災気象情報を支える技術開発

○トピックスⅤ 火山に関する情報の改善

- V-1 火山噴火等による潮位変化に関する情報の改善について
- V-2 噴火警戒レベルと火山防災協議会
- V-3 火山噴火予知連絡会の体制変更について

○トピックスⅥ 気象情報が社会で活用されるために

- VI-1 気象分科会提言
- VI-2 「ひまわり 8 号」から「ひまわり 9 号」へ

○トピックスⅦ 気象業務の国際協力と世界への貢献

- VII-1 国際気象機関（世界気象機関の前身）創立から 150 周年
- VII-2 JICA 課題別研修「気象業務能力向上」コースの対面研修再開

○トピックスⅧ 普及啓発

○資料編

全国気象官署一覧、「気象業務はいま 2023」の利用について、第三者創作図表リスト